

地区概要

本地区は三種町中央部の山間地域に位置し林野率が79%と高く山間地特有の未整理地が多いため、大型機械化農業への遅れも目立ち、若者の流出による労働力の低下、過疎化が深刻化している。そのため、農業用排水路整備、農道整備を行い、作業形態の省力化による低コスト農業の確立が図られた。

事業概要

実施目的

農地を有効利用するため、作業形態の省力化と農業用機械の適正化による低コスト農業の確立を図り、中核農家の安定化を目指す。

事業主体：三種町(旧山本町)

事業工期：H12～H17

受益面積：131ha

総事業費：719百万円

事業工種（農業生産基盤整備）

用排水路：7210m(4路線)

農道：2309m(3路線)

事業による効果

受益農家の収量が向上(図1)

生産性の向上により、労働時間が短縮(図2)

事業実施前



素掘水路であり、洗掘や法面崩壊による断面不足や漏水等により用水不足が生じている



未舗装であり、狭隘で曲折しているため、農業資材の搬入出及び通行が困難な状況で、安全かつ効率的な作業に支障をきたしている

事業実施後

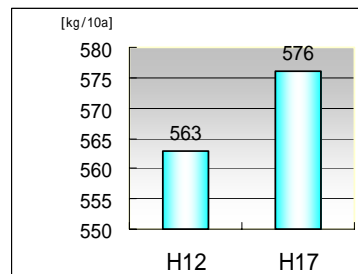


舗装水路により漏水が防止され必要水量が確保され生産性が向上した

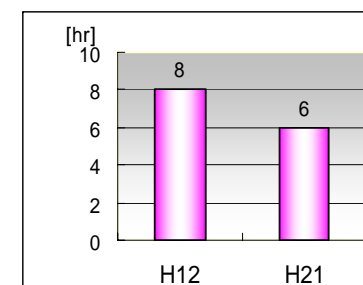


拡幅改良により農業の省力化、農業経営の安定化と安全性及び農業集落の日常生活における便利性、快適性が図られた。

水稻収量の推移(図1)



労働時間の推移(図2) 地区内農家A



地区概要

本地区は三種町中央部の山間地域に位置し、生活基盤の整備の遅れや高齢化から集落機能の維持が問題となっていたが、本事業により生活基盤が向上したほか、活性化施設の整備により集落の活動が活発になった。また、地域の伝統文化の継承と保存が図られた。

事業概要

実施目的

遅れていた生活環境基盤を整備するとともに、集落活動の拠点となる活性化施設を整備して地域の活性化を図る。

事業主体：三種町（旧山本町）

事業工期：H12～H17

総事業費：719百万円

事業工種（農村生活環境基盤整備）

農業集落排水：1384m

農場集落防災安全施設：5ヶ所

活性化施設：2ヶ所

交流施設：1箇所

活性化施設整備事業

伝統文化継承の取り組み

活性化施設 長面地区では、伝承室を利用し地区伝統行事の継承を行い、地区住民の交流の場となるとともに、地域の活性化を実現している。

集落内の活動

営農組織の会合や講習会の他、自治会、老人会等各種団体の会議や研修に利用されており、利用人数は当初計画の100.5%となっており有効に活用されている。

集落排水施設整備

従来は断面狭小及び土水路のため、降雨時には宅地に浸水、濁水時には雑排水が停滞し不衛生であった。
舗装水路に改良整備され、集落内の排水不良が解消、快適な生活環境整備が図られた。



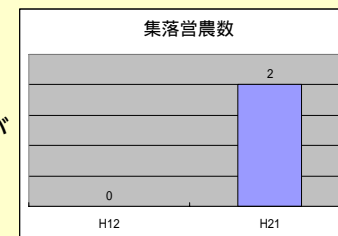
整備前



整備後

事業全体での効果

農業生産基盤により生産性が向上したこと、生活環境整備により集落内の活性化や環境の向上が図られたことにより、受益地区内での集落営農組織数が増加。



集落営農組織数の推移